

No.67 シリーズ 教育の窓

「笑顔」で
「キラリと輝く」
学校

潮見小学校

1.はじめに

潮見小学校は、豊かな自然に囲まれた学校です。全校11名の子どもたちが、学校と家庭・地域が一体となつてさまざまな活動を行っています。

本校は、子どもたち一人ひとりが生き生きと活動し、地域と共に歩む教育活動を推進し、「笑顔」で「キラリと輝く」学校を目指しています。

2.「少人数のよさを生かした教育活動の推進」

(1)自分の考えを自分のことばで表現する活動

毎時間一人ひとりに発言の時間を十分とることができるという少人数の利点を生かし、授業では自分の考えを相手に伝える過程を大切に指導しています。そして一人ひとりを丁寧に見届け、確かな力をつける指導を行っています。

また、集会活動や全校帰りの会でも、1年生から6年生まで一人ひとりが全校の前で話す機会をもっています。特に「やまびこ」と名付けた集会活動では、児童会主体で自分たちの学校生活での問題や行事への取り組みについて話し

合ったり、総合的な学習で一人ひとりが課題をもって追究したことを発表したりしています。「やまびこ」では、仲間が発言した内容については必ず何か意見を返す「こだま」を大切にしています。

(2)自分から進んで学習する活動



合ったり、総合的な学習で一人ひとりが課題をもって追究したことを発表したりしています。「やまびこ」では、仲間が発言した内容については必ず何か意見を返す「こだま」を大切にしています。

(3)全校で実践している活動

本校では、早い時期から英語に親しみ、コミュニケーションの楽しさを感じてほしいという願いから、週に1回、木曜日をイングリッシュデーとしています。朝の英語でのあいさつから始め、放送や給食の紹介も英語で行います。また、モーニングイングリッシュタイムでは、全校で視聴覚教材などを活用して簡単な英語での会話を学習しています。チャレンジカードを使って仲間や職員と英語会話を楽しんでいます。

3.「ふるさとを愛する心を育む教育活動の推進」

(1)ふるさとを体験する活動

本校では、地域を知る活動や地域の



人々とふれあう活動を大切にしています。毎年、ふるさと潮南や八百津町のよさを知ってほしいという願いからふるさと体験学習を位置づけています。今年度は、

いつもバスで通学している道を歩いて、じっくりと地域の様子を観察しました。そして、潮南環境改善センターで防災対策のことを学び、さらに、しおなみマレットゴルフ場では、地域のみなさんが協力して山を切り開き、自分たちの手でゴルフ場を建設された大変さや、ゴルフ場に対する思いを聞き、ふるさとへの理解を深めました。

(2)各自がテーマを設定して取り組む活動

本校では総合的な学習の時間や生活科の時間に、一人ひとりがふるさと潮南の自然・歴史・文化をテーマに課題追究を行っています。主体的に地域とかわり、より深く地域を知ることにより、愛着を深めています。

4.「特色ある教育活動の推進」

(1)粘り強く取り組む意欲を育む活動

仲間と目標をもって粘り強く取り組む力を育む活動の一つとして、一輪車演技に取り組んでいます。元世界チャンピオンの方の指導を受け、体力づくりの一環として、全校で継続して取り組んでいます。子どもたちは一輪車によつて体幹を鍛え、バランス感覚・持久力を身につけています。昨年同様、同じように一輪車に取り組む他校との交流を

始めるなど活動の輪を広げています。(2)命を大切にすることを育む活動

毎年全校で花壇づくりを行い、FBC(フラワーブラボーコンクール)に参加しています。小さな種から芽が出て花を咲かせる営みを観察し、愛情をもって丁寧に世話をすることに



命を大切にすることを育みます。また、交流の一環として地域の施設に花を贈る活動にも取り組んでいます。昨年度は、取り組みを認められ、岐阜県教育委員会賞を受賞しました。

(3)社会性を育てる活動

本校の子どもたちは、地域の障がい者支援施設「しおなみ苑」と学習会や行事を通して、全校で毎年交流を重ねています。そこでの体験から様々な立場の人が共に生きていくことを学んでいます。

5.おわりに

このようにさまざまな教育活動を通して本校の子どもたちは日々の学びの成果を確かな力にし、ふるさと潮南・八百津への愛着を大切にしながら、将来に備えて意欲的に学んでいます。本校では、毎年2月に「ふるさとふれあい発表会」を実施し、保護者や地域の方に一年間の学習の成果を発表しています。今年度も子どもたちが「笑顔」で「キラリと輝いた」成果をたくさん発表できることが期待されます。